

ポリエンド トラッカー+

必需品

必須参考資料のコレクション

Polyend Tracker+用

概要

Polyend Tracker+ は、クラシックなソフトウェア音楽アプリケーションの最新ハードウェア実装であり、アップグレードされたハードウェアと拡張機能セットを備えた次世代の Polyend Tracker です。Tracker は、主にゲーム機の音楽制作ツールとして 80 年代後半に登場し、90 年代にはパーソナル コンピューターでも人気を博しました。Tracker は、サンプルと関連パラメータをトリガーする一連の線形ノートを組み立てるユーティリティです。標準的なデジタル オーディオ ワークステーション (DAW) とは異なり、Tracker はトラックを再生するときに一般的に上から下まで実行されます。この風変わりな音楽制作プログラミング スタイルは珍しいように思えるかもしれませんが、非常に強力でクリエイティブな制作アプローチを提供します。

Polyend Tracker+は、16のシーケンストラックとさまざまなシンセやサンプルインストゥルメント、MIDI、エフェクト、オーディオを備えたモダンでスタイリッシュなボックスにこのビンテージアプリケーションを提供します。

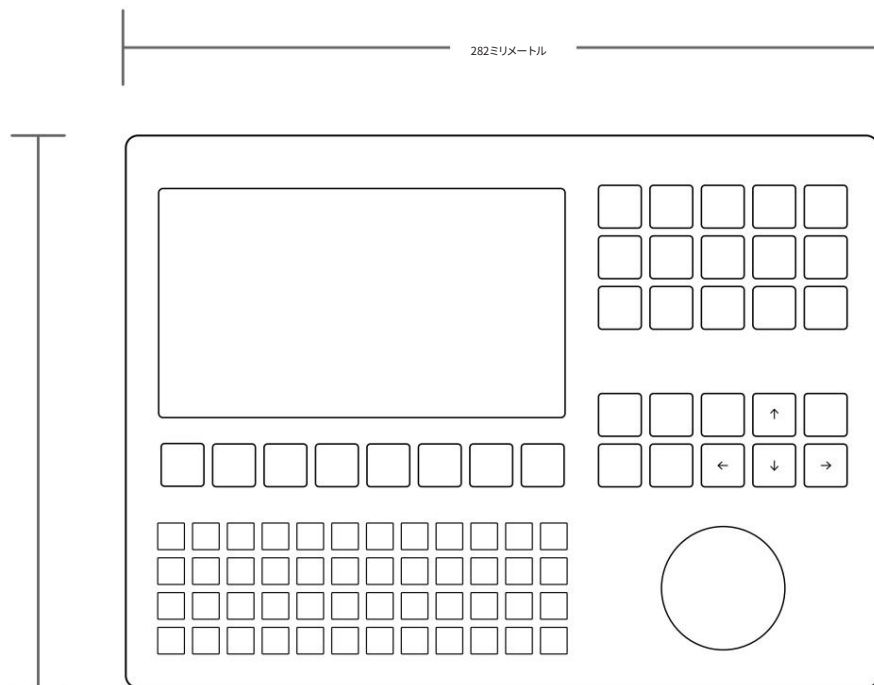
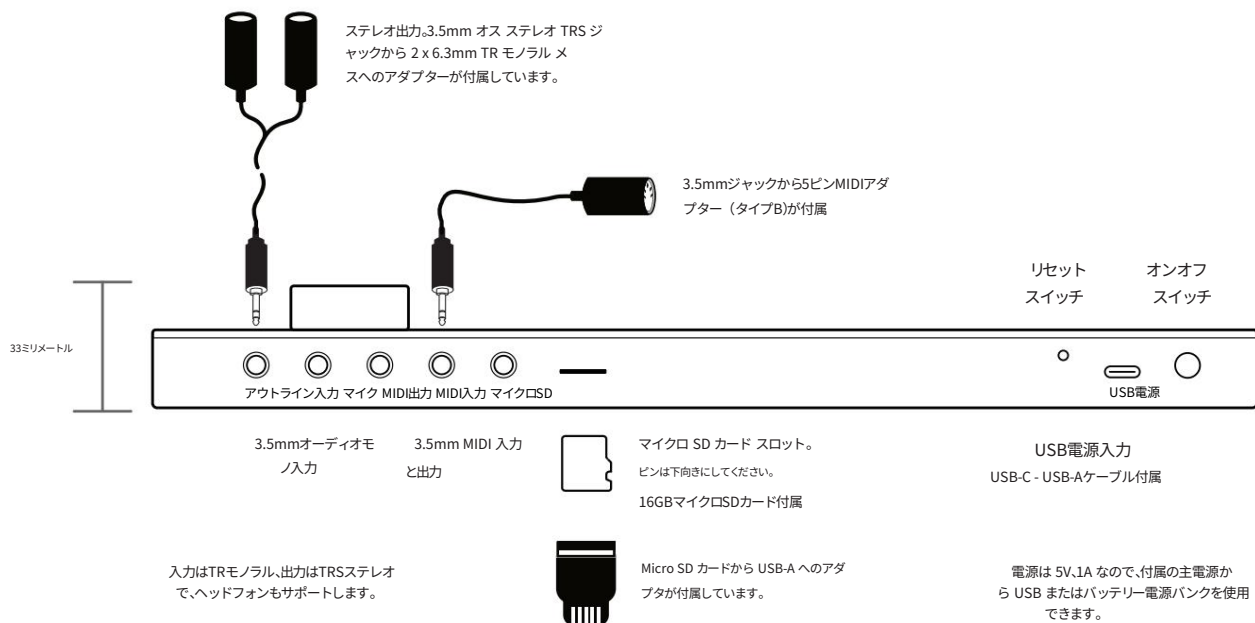
複数のワークフロー環境に含まれる入力と出力。機能セットは幅広く、レトロゲームやラジオ受信機など、興味深く独創的で予想外の要素も含まれています。Tracker+ は、使い慣れたフォームファクタとユーザーインターフェイスに、より多くのパワーと機能を備えています。Tracker+ には、拡張サンプル時間によるステレオサンプリングを含むステレオオーディオパスウェイが含まれています。さらに、USB 経由のオーディオを使用して他の機器とインターフェイスする機能もあります。

複数のトラックをカバーします。Tracker+はシンセサイザー楽器モデルのコレクションを導入します
サンプルベースのインストゥルメントもすべて、そのポータビリティと「オールインワン」ワークステーションとしての地位を支えています。このガイドは、学習のスピードアップと、デバイスを最大限に活用することを目的としています。Tracker+ の旅は、一見すると普通ではないように見えるかもしれませんが、Tracker+ は楽しいだけでなく、同時に、やりがいのある結果をもたらす強力なプロフェッショナルな音楽制作ユニットでもあります。お楽しみください。

トラッカー+エッセンシャル

ハードウェアの概要

ステレオオーディオ出力はヘッドフォン出力としても機能します。



ノート

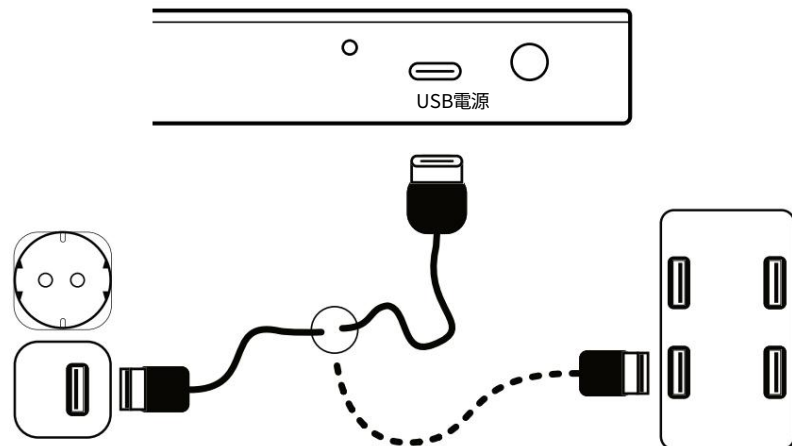
起動する

Tracker+ は低電力ユーザーなので、付属の USB 電源アダプターまたは充電式バッテリー パワー バンクから電力を供給できます。
Tracker+を再起動すると、以前開いていたプロジェクトが再度開かれます。

■ TRACKER+の電源オン/オフ

1. 付属の USB-C 電源ケーブルを Tracker+ と付属の USB プラグの間に接続します。また、Tracker+ はポータブル USB パワーバンク* でも動作できます。Tracker+ は 5V、1A 定格電源を使用します。
2. Tracker+ が動作するために SD カードが正しくインストールされていることを確認します。
3. 背面左側にある小さな電源ボタンを素早く押します（上から）Tracker+が起動し、以前のプロジェクトが再開されます。
4. 電源をオフにするには、タイマー バーが終了するまで、背面左側（上から見て）にある小さな電源ボタンを長押しします。Tracker+ の電源がオフになり、オン/オフ ボタンを放すことができます。

電源は、付属の主電源から USB アダプターに 5V、1A 供給されます。

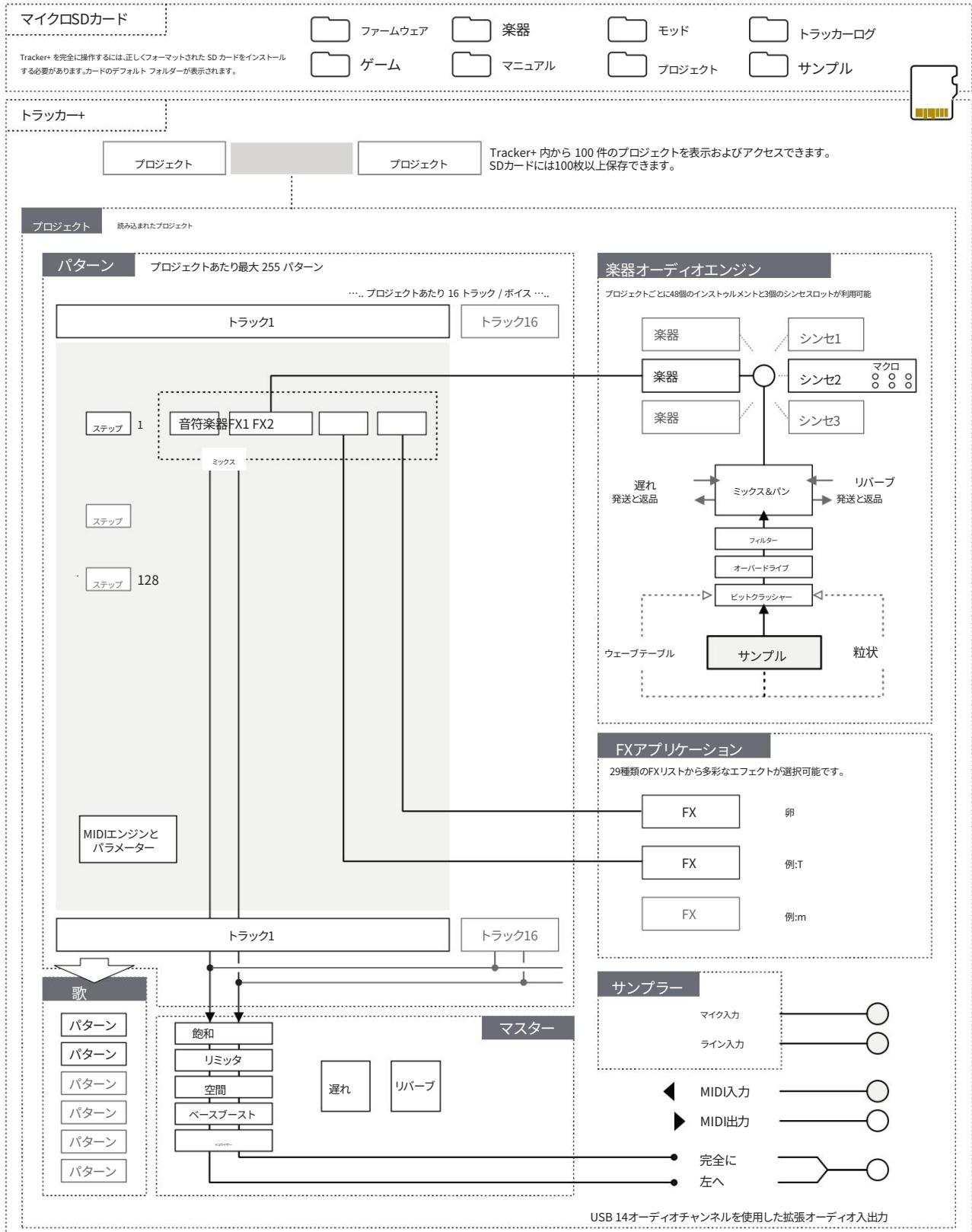


あるいは、バッテリーパワーバンクを使用してください。
起動時の瞬間電流は約1.2A、通常状態では約0.5Aです。

* Polyend では、スマート機能のない標準のパワーバンクの使用を推奨しています。インテリジェント/スマート パワーバンクまたは PC/Mac 電源には、Tracker+ に必要な継続的な供給を妨げる機能がある場合があります。USB - C から USB - B へのケーブルが付属しています。USB - C から USB - C は、以降の Tracker+ モデルで使用できます。

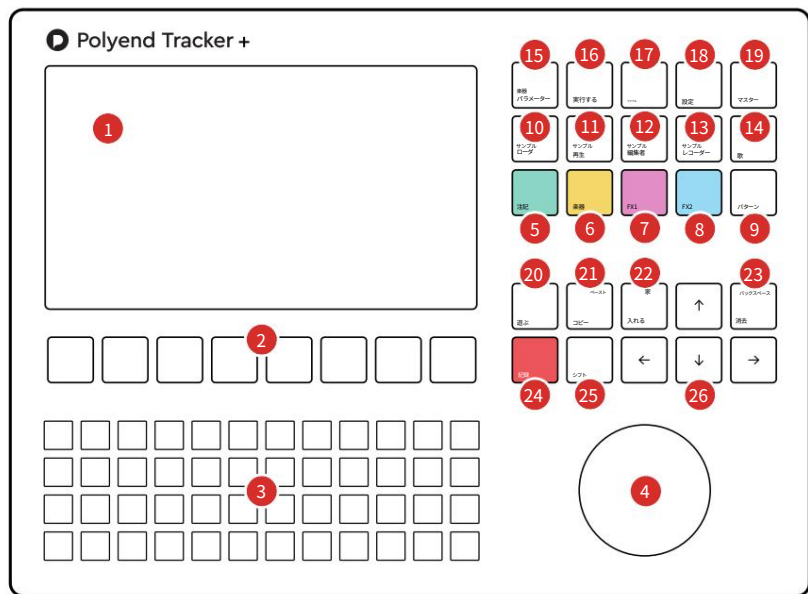
トラッカー+エッセンシャル

Tracker+ オーディオ構造



トラッカー+エッセンシャル

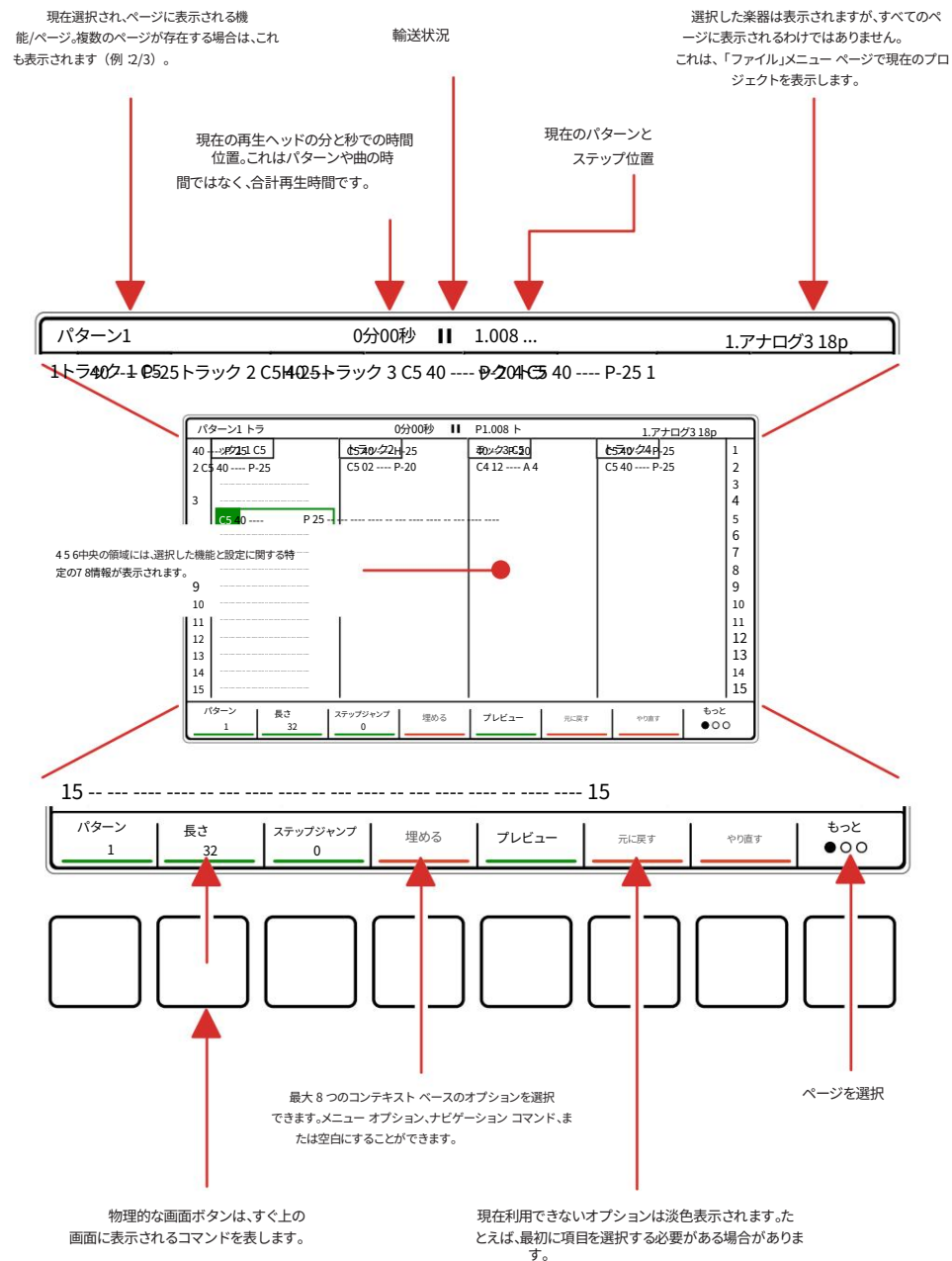
- 1 LCD ディスプレイ
インチ、LCD TFT 800 x 480 ディスプレイ。
- 2 画面ボタンダイナミック
ク[画面ボタン]は、各ボタンの上に表示される機能に依存します。
- 3 グリッドパッド4
x 12 グリッドのシリコン多機能 [PADS]。
- 4 ジョグ ホイール
ナビゲーションとパラメータ調整に使用される回転 (ジョグ) ホイール。
- 5 専用のメモボタンステップの[メモ]要素を選択します。
- 6 専用インストゥルメントボタンステップの[インストゥルメント]を選択します。
- 7 専用のFX1ボタンステップの[FX1]のエフェクト選択。
- 8 専用のFX2ボタンステップの[FX2]のエフェクト選択。
- 9 専用パターンボタン[パターン]モード/ページ選択。
- 10 サンプル ローダー ボタン[サンプルローダー] はサンプル選択用のブラウザーを開きます。
- 11 サンプル再生ボタン[サンプル再生]は再生オプションメニューを開きます。
- 12 サンプル エディター ボタン[サンプルエディター] をクリックすると、エディター オプションが開きます。
- 13 サンプルレコーダーボタン[サンプルレコーダー]モード/ページ選択。
- 14 ソングモードボタン[ソング] モード/ページの選択。
- 15 楽器パラメータボタン[楽器パラメータ] オプションを開きます。
- 16 実行モードボタン[実行] モード/ページを選択します。
- 17 ファイルボタン[ファイル] 管理オプションを選択します。
- 18 設定ボタン[設定] オプションを開きます。
- 19 マスターボタンマスタ
-エフェクトとミキサー機能を含む[マスター]モード/ページを選択します。
- 20 再生ボタン[再生]
を押すとパターンまたは曲が再生されます。もう一度押すと再生が停止します。もう一度押すと再生が再開されます。
- 21 コピー/貼り付けボタン[コピー/貼り付け] を押すと、選択した項目がコピーされます。
[Shift] + [コピー/貼り付け] で、コピーした項目を貼り付けることができます。
- 22 挿入/ホーム ボタン[Insert/Home]
を押すと挿入します。[Shift] + [Insert/Home] を押すと、パターンの先頭の「ホーム」に戻ります。
- 23 削除/バックスペース ボタン[削除/バックスペース] を押すとリセットまたは戻ります。
[Shift] + [Delete/Backspace] を押すと、選択した項目が削除されます。
- 24 Rec ボタン[Rec]
を押すと、パターンの編集や設定を行うための録音モードのオン/オフが切り替わります。
- 25 シフト ボタン
[Shift] キーを押しながら別のボタンを押すと、その二次機能が選択されます。
画面の明るさは調整可能ですが、コマンド ボタンにはバックライトが付いていないため、暗い環境やライブやパフォーマンス中に問題が発生する可能性があることに注意してください。
- 26 ナビゲーション ボタン4 つのナビゲーション ボタン [上],[下],[左],[右]。メニューやオプションを操作するために使用します。



トラッカー+エッセンシャル

ページレイアウト。

各ページには、選択した機能の情報とコントロール オプションが表示されます。これはコンテンツに固有のものである可能性がありますが、Tracker+ の一般的なページのすべて (またはほとんど) に適用される共通の機能とナビゲーション原則がいくつかあります。使用可能なトラックは 16 個あり、最初の 8 つはサンプル、MIDI、またはシンセで、トラック 9 ~ 16 は MIDI またはシンセに重点を置いています。

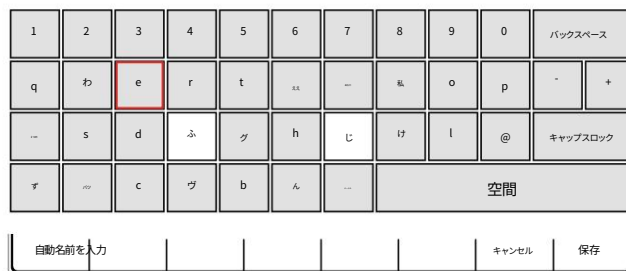


ノート

QWERTYキーボード。

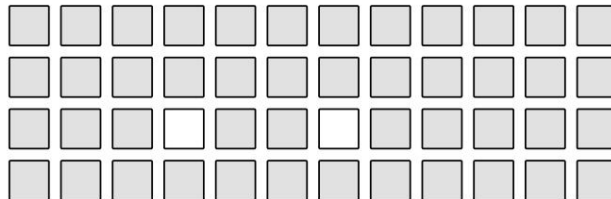
一部のページでは、トラックやプロジェクトなどに名前を付けるためにテキスト編集が必要になります。英数字ポップアップ エディターを使用する場合、同じ機能が適用されます。画面には QWERTY キーと編集するテキストが表示され、4 x 12 パッド グリッドはキーボードのキーとして機能します。画面のボタンは、入力、キャンセル、または保存に使用されます。

画面には、グリッド パッドによって表されるキーが表示されます。パッドと画面の文字を区別するために、「f」キーと「j」キーが強調表示されます。



文字とタイトルは、[上],[下],[左],[右]を使用して移動し、[Enter] - 1 番目の画面ボタンを押して文字を選択して選択できます。

画面左から7番目の[キャンセル]ボタンを選択することも可能です。完了したら画面左から8番目の[保存]ボタンで保存し、名前を保存します。



QWERTY キーボードは 4 x 12 グリッド パッドで表されます。「f」キーと「j」キーがハイライト表示されます。矢印を使用して選択した文字も明るくハイライト表示され、パッド上で点灯して参照として機能します。パッドを使用すると、文字を簡単に入力できます。

命名画面が表示されている場合、命名エディターでは次の Tracker+ ボタンが動作します。

- [上],[下],[左],[右] でキーボード上の選択範囲を移動します。名前がハイライト表示されている場合は、名前のテキスト内を左/右に移動します。
- [挿入/Home]は現在ハイライトされている文字を挿入します
カーソル位置の名前。
- [Delete/Backspace] で文字を削除し、
テキストカーソルの位置から名前を取得します。

トラッカー+エッセンシャル

設定オプションの概要

「Config」メニューでは、さまざまなオプションを設定できます。これらのデフォルト設定は、最初は十分ですが、特定のワークフローや状況には、特定の変更が適している場合があります。これらの詳細については、関連するメインマニュアルのセクションで説明します。ここでは、グローバル設定の概要を示します。

メニュー	オプション	説明	書籍セクション
プロジェクト設定	パフォーマンスプリセット	パフォーマンスプリセットをグローバル構成として保存することも、各プロジェクトにローカルとして保存することもできます。	パフォーマンスモード
プロジェクト設定	パターン区切り線	選択したステップのハイライト レベルを設定し、パターンの視覚化を向上させます。	パターンフォーマット
プロジェクト設定	パッドスケール	ノートの再生/選択に使用する 4 x 12 グリッド パッドのスケールリングを設定します。	シーケンシング手順
プロジェクト設定	パッド ルートノート	4 x 12 グリッド パッド マトリックスの左下パッドの C2 - C4 間のルート ノートを設定します。	シーケンシング手順
プロジェクト設定	パッドレイアウト	パッド グリッド内のルート ノートの真上にあるパッドのノート オフセットを半音 1 ~ 12 で設定します。	シーケンシング手順
プロジェクト設定	アンチエイリアシング	アンチエイリアシングを「オン」に設定すると、サンプル再生時によりクリーンなサウンドが得られます。オフにすると、よりローファイなビンテージ感になります。	
プロジェクト設定	リミッターモード	リミッターのアタックとリリースの特性を微妙なものから極端なものまで設定します。	マスターエフェクト
プロジェクト設定	送信モード	センドをプリフェーダー、つまりボリュームまたはポストフェーダーから独立して設定します。	マスターエフェクト
プロジェクト設定	追加ヘッドルーム	出力オーディオに余分なヘッドルームを追加してクリッピングを回避します。	
プロジェクト設定	ゼロにスナップ	オーディオの交差をゼロ ポイントにスナップします。サンプル再生ページでは緑色のマーカーとして使用されます。	楽器
一般的な	ラジオ地域	ヨーロッパ、オーストラリア、米国、日本などの地理的地域に合わせて無線周波数を設定します。	オーディオ
一般的な	ディスプレイの明るさ	7 インチ ディスプレイの明るさレベルを、高、中、低の 3 つの設定間で調整します。	システム
一般的な	表示テーマ	画面の配色。オリジナルは背景が暗く、モノクロは明るいです。	システム
一般的な	表示フォント	テキスト フォント オプション。オリジナルはクラシックなコンソールの外観ですが、「新しい」はより小さく、より標準的です。	システム
一般的な	パッドの明るさ	4 x 12 グリッド パッドの明るさを高、中、低に調整します。	システム
一般的な	パッドプレビュー	グリッド パッドを使用して、グリッド エディター内のアクティブなトラックまたはパターン ラインのノートを強調表示できるようになります。	

トラッカー+エッセンシャル

メニュー	オプション	説明	書籍セクション
一般的な	録音オプション	録音する内容（ノート、クオンタイズ、マイクロタイミング、ベロシティ）のオプションを設定します。	シーケンシング手順
一般的な	番号モード	すべての数値を 0 または 1 から始まる 10 進数または 16 進数形式に設定します。クラシックな外観と操作感です。	システム
一般的な	パターン配置	パターン表示を従来の垂直オリジナル、垂直リボルバー、または水平表示に設定します。	パターン
一般的な	パターントップ情報	パターン画面の上部にトラック名のみ、追加情報のみ、またはオフを表示できます。	パターン
一般的な	ライン入力チャンネル	ラインのオーディオ入力をステレオ、モノラル左、モノラル右から選択します。	オーディオ
ミディ	出勤	マスター クロックのソースを内部（デフォルト）または外部 USB または MIDI 入力ジャックに設定します。	ミディ
ミディ	退勤	Tracker+ Mini クロック出力を設定します。オフ、USB、MIDI 出力ジャック、USB + MIDI 出力ジャック。	ミディ
ミディ	輸送イン	トランスポート制御コマンドのソースを、内部（デフォルト）または外部 USB または MIDI 入力ジャックに設定します。	ミディ
ミディ	輸送アウト	トランスポート制御コマンドの出力を、オフ、USB、MIDI 出力ジャック、または USB + MIDI ジャックのオプションに設定します。	ミディ
ミディ	ノート	外部ノートの入力ルーティングを設定します。オフ、USB、MIDI 入力ジャック、または USB + MIDI ジャックのオプションに設定します。	ミディ
ミディ	ノート入力チャンネル	外部機器から受信するノートの MIDI チャンネルを設定します。すべてのチャンネルまたは Ch 1-16 を選択します。	ミディ
ミディ	MIDI出力	MIDI 出力ルーティングを、オフ、USB、MIDI 出力ジャック、または USB + MIDI ジャックのオプション間で設定します。	ミディ
ミディ	CC入力	CC (コントロール チェンジ) 入力ルーティングをオフ、USB、MIDI 入力ジャック、USB + MIDI 入力ジャックに設定します。	ミディ
ミディ	CC 入力チャンネル	CC (コントロール チェンジ) 受信メッセージの MIDI チャンネルを設定します。すべてのチャンネルまたは Ch 1-16 を選択します。	ミディ
ミディ	中央のC	中央の C を C-3、C-4、C-5、C-6 に設定します。外部ギアを使用して Tracker+ の範囲を調整します。	ミディ
ミディ	クロック同期補正	着信同期の遅延補正。-6 ~ +6。 MIDI ジャックまたは USB クロック入力で使用します。	ミディ

トラッカー+エッセンシャル

メニュー	オプション	説明	書籍セクション
メトロノーム	州	ライブ録音時にメトロノームをオンまたはオフにします。	プロジェクト
メトロノーム	プレロール	録音を開始する前に 4 のカウントインを提供します。	プロジェクト
メトロノーム	拍子番号	拍子記号の上の分子	プロジェクト
メトロノーム	拍子記号の小数点以下		プロジェクト
メトロノーム	音量	メトロノームの音量レベル	プロジェクト
ファームウェア	ファームウェアアップデート	SD カードの「ファームウェア」フォルダにある OS に基づいてファームウェア アップデートをアクティブ化します。	システム
ファームウェア	現行版	インストールされている OS の現在のバージョンを表示します。視覚的なインジケータのみです。	システム
ファームウェア	建てる	ファームウェアビルドバージョンの表示	
ファームウェア	設定をリセット	この設定メニューをデフォルトの元の設定にリセットします。	システム
USB	USBストレージ	USB接続されたPC / Macは、Tracker+ SDカードを外部ストレージドライブとして認識します。ファイルはシステム このモードでは、インストールされた SD との間で直接転送されます。	
USB	USBオーディオ	USB オーディオ入力、出力、またはその両方を有効にします。オフに設定することで USB オーディオを無効にすることもできます。	オーディオ

参照されている本のセクションは、Polyend から別途ダウンロードできるメインマニュアルに記載されています。

パターンの設定。

パターンとステップの編集は、「パターン」モードで実行されます。最初の要件は、パターン自体を作成することです。その後、ステップを追加してメロディーやビートを作成できます。パターンのコマンドは、ページの下部にあるダイナミックスクリーン ボタンから使用できます。これらは、モードや選択に応じて変わります。

ページの下部にラベルが付けられた動的画面ボタンは、パターンを作成するためのオプションを制御します。下線付きの赤色は、コマンドにアクセスするために記録モードをオンにする必要があるかどうかを示します。

15 ----- 15



メニューオプション	関数	説明
パターン	パターンの選択	編集するパターンを選択します。これにより、プロジェクト内の 1 ~ 255 のパターン番号が選択されます。
長さ	パターンの長さ	パターン内のステップ行の数を調整します。デフォルトは 32 ですが、パターンでは最大 128 行を使用できます。
ステップジャンププログラミング支援		パッドを使用してステップを記録するのに役立ちます。定義されたステップで選択カーソルが自動的にジャンプします。
埋める	プログラミング支援	プログラミング手順を支援します。定義された選択基準に基づいて手順を自動的に入力します。
プレビュー	楽器プレビュー	サウンドをプレビューできるように、ステップごとに楽器を演奏します。
元に戻す	元に戻す 指示	利用可能な場合は、最後のアクションの前の状態をリセットし、最後の (最大 20 個の) コマンドを事実上元に戻します。
やり直す	最後にやり直す 指示	利用可能な場合は、最後のアクションの後の以前の状態を復元し、最後の (最大 20 個の) コマンドを効果的にやり直します。
与える 選択	バウンスオーディオ	選択範囲を新しいオーディオ サンプルにレンダリングします。他の場所で使用したり、トラックの消費量を削減したりするのに役立ちます。
反転	ステップを反転	選択範囲内のすべてのステップを垂直に反転します
重複 パターン	パターンを拡張する	パターン全体とそれに関連するステップを拡張し、パターンの長さを 2 倍に拡張します。
拡大する パターン	パターンを拡張する	既存のステップの間に空白のステップを追加してパターンを拡張し、パターンの長さを 2 倍にします。
縮む パターン	契約パターン	2 ステップごとに削除してパターンの長さを縮小し、パターンの長さを半分にします。
コピー パターン	コピー	パターン全体を仮想クリップボードにコピーします。
ペースト パターン	ペースト	仮想クリップボードからコピーしたパターンを現在の位置から始まる場所に貼り付けます。
パターン 名前	パターンに名前を付ける	現在のパターン名を変更または編集するには、英数字キーボードを開きます。
トラック名	トラックに名前を付ける	現在のトラック名を変更または編集するための英数字キーボードを開きます。
もっと	ページの変更	次のコマンドページを選択します

トラッカー+エッセンシャル

ノート

パターンとステップの編集は、[パターン] ボタンを押して選択される「パターン」モードで実行されます。ステップを編集するには、[Rec] を選択します。パターン モードでの表示は、設定オプションで変更できます。

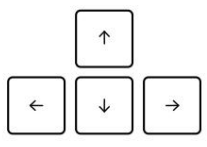
[Shift] + [Insert / Home]を押してカーソル位置を先頭にリセットします。手順1

構成設定の「一般 > パターントップ情報」でトップバーのパターン情報を変更します。
トップバー: オフ、トラックのみ、または追加情報

「トップダウン」ビューは、構成設定で「左から右」に変更できます。
一般 > パターン配置

ステップロー

ステップを選択するには
Tracker+グリッド内を垂直に移動するには、[上]または[下]を押すか、回転（ジョグ）します。矢印キーを使用すると、カーソルは末尾を過ぎて先頭に戻ります。



Tracker+グリッド内を水平方向に移動するには、[左]または[右]を押します

パターン1

1	C5 40 ---- P 25	0分00秒	1.008 ...	1.アナログ3 18pトラ
2	C5 40 ---- P 25	C5 02 ---- P-20	C5 40 ---- P-20	C5 40 ---- P-25
3		C4 12 ---- A 4		
4				
5	C5 40 ---- P 25			
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

8トラック ビューに切り替えます。
8トラックのブロックにわたって1つの要素を表示します

トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5	トラック6	トラック7	トラック8	パターン	長さ	ステップジャンプ	埋める	プレビュー	元に戻す	やり直す	もっと
...	C5	1	32	0					
...	C5	C4	D2
...	...	C4

[パターン] + [ノート] - ノートパラメータのみを含む8つのトラックを表示します

[パターン] + [楽器] - 楽器パラメータのみを含む8つのトラックを表示します

[パターン] + [FX1] - FX1パラメータのみを含む8つのトラックを表示します

[パターン] + [FX2] - FX2パラメータのみを含む8つのトラックを表示します

[パターン] + 最大 2 つのパラメータ ボタンの組み合わせ (ノート、インストールメント、FX1、FX2) を押したままにすると、8 つのトラックにわたってトラックごとに 2 つのパラメータが表示されます。

[パターン]を押すと4つのトラックに戻り、すべてのステップパラメータが表示されます。

ノート

手順。

ステップは、音符やビートの再生、MIDI アクションのアクティブ化などのイベントをトリガーする構成要素であり、パターンの作成に使用されます。ステップは、パターン シーケンスで使用可能な 8 つのトラックそれぞれを表すパターン行にわたってプログラムされます。

ステップは、それぞれ専用の選択ボタンを持つ 4 つの主要コンポーネントの組み合わせです。

注: これはステップのピッチを設定し、サンプル マップされたドラム ヒットに基づいてメロディーやビートを作成するために重要です。

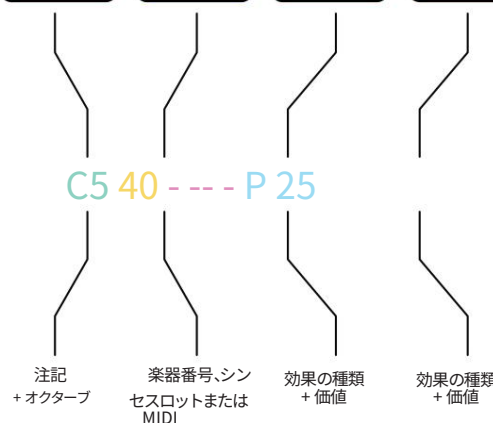
インストゥルメント。これはシンセまたはサンプルと、それに割り当てられたパラメータと設定の組み合わせです。MIDI チャンネルの設定にも使用されます。

FX1。ステップにモジュレーションとオーディオ エフェクトを適用できる最初のエフェクト スロット。

FX2。ステップにモジュレーションとオーディオ エフェクトを適用できる 2 番目のエフェクト スロット。

ステップ専用パラメータボタン

パターン ページは [パターン] を押すことで選択されますが、ノート、インストゥルメント、FX1、FX2 には選択したステップを編集するための専用ボタンがあります。



パラメータは専用のステップ機能ボタンに合わせて色分けされています

C5 40 ---- P 25

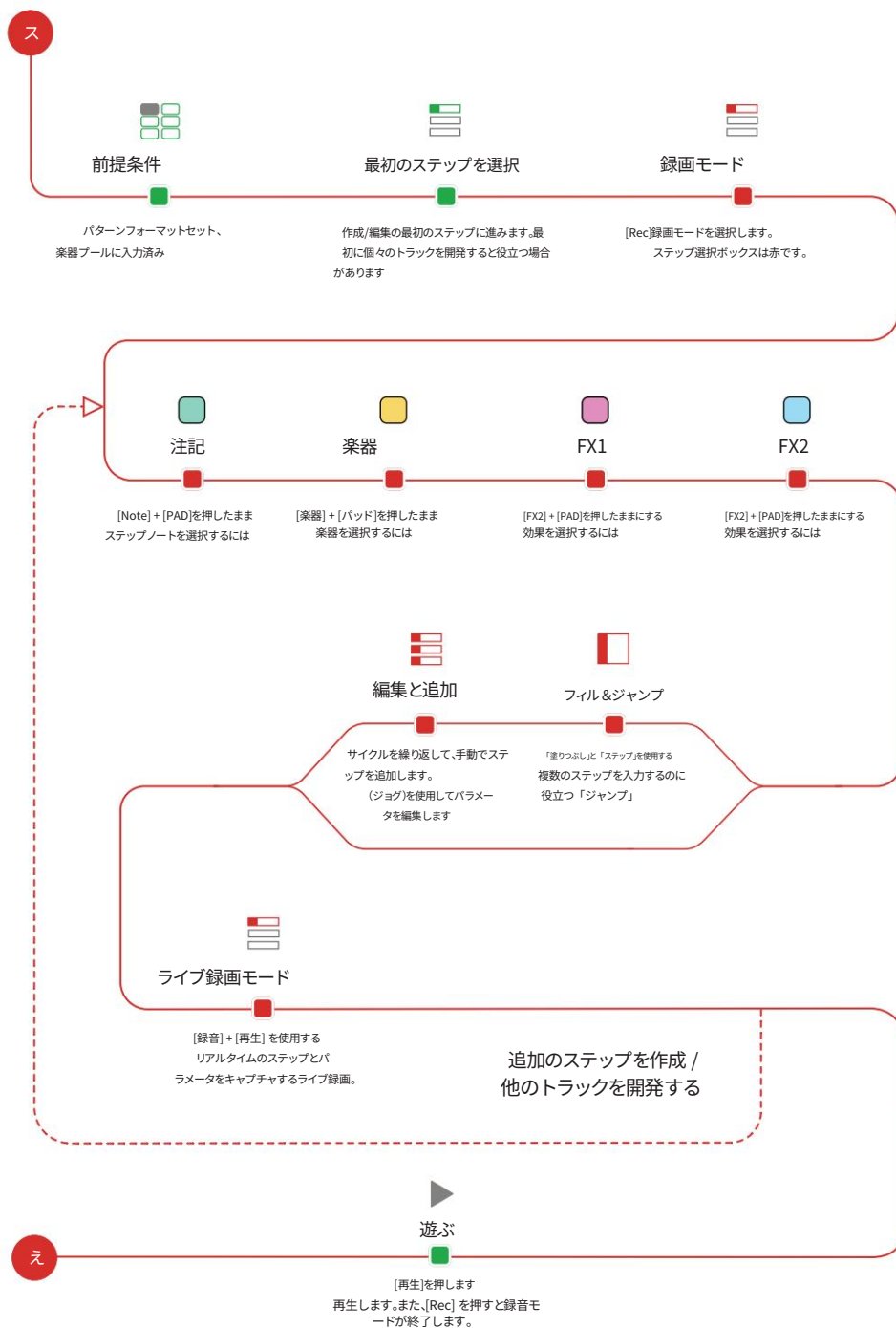
ステップ選択ボックスでは、選択したオプション部分が単色で表示されます。
例: ここではメモが強調表示されています。

サンプル ベースの楽器はトラック 1 ~ 8 でのみ設定できることに注意してください。すべてのトラックでシンセまたは MIDI ベースの楽器を使用できます。

トラッカー+エッセンシャル

ステップは Tracker+ でシーケンス化され、各ステップにはノート、インストゥルメント、および 2 つの FX スロット オプションが含まれます。これらを関連性のあるトラックに構造化することをお勧めします。たとえば、特に開始点ではトラック 1 のキック ドラムです。

ノート

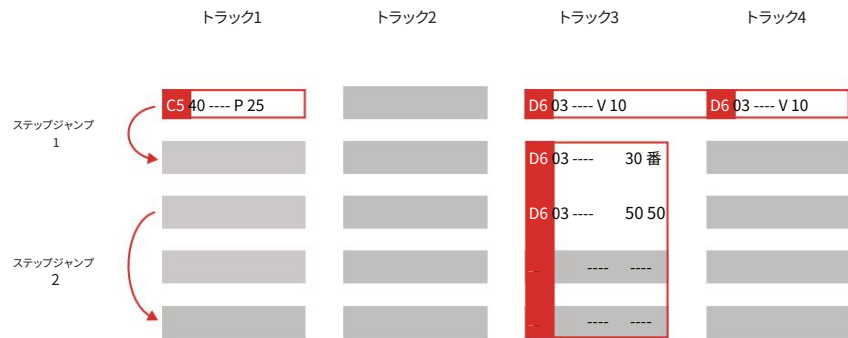


ノート

手動ステップ入力



パターンのステップを編集するには録音モードをオンにします



ステップは個別に追加できます。
例: [Note] + [PAD] を押してオプションを選択します。

パッドを押すと、その後のステップが記録されます。
これにより、選択したパラメータが「ステップジャンプ」間隔で定義された行に繰り返し記録されます。

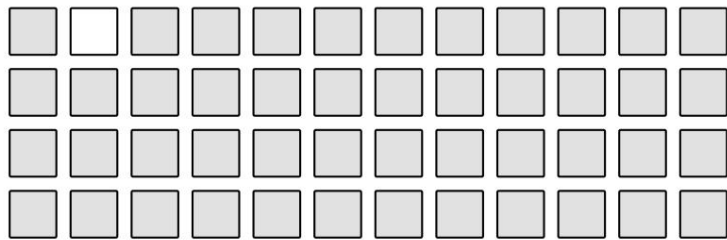
[Shift] + [上] または [下] で複数のステップ行を選択します。
複数のトラックにまたがる場合 [Shift] + [左] + [下]

一番上の行で [Shift] + [上] を押すと、トラック内のすべてのステップが選択されます。
[Shift] + [上] + [上] を押すと、すべてのステップが選択されます。

既存のパラメータの編集は、パラメータがすでに設定されている場合に限り、同時に行うことができます。
これらの変更は元の値に対する相対的なものになります。
ステップの割り当てられていない要素は空のままになります。

録音モードで [PAD] を演奏すると、1) ステップに選択されたパラメータと 2) 実際に選択されたパッド番号に応じて、それぞれのパラメータ値が録音されます。

例では、パッド 2 が選択されています。



D6 03 ---- V 50 選択された音符は、D6 を表すパッド 3 です。

D6 03 --- V 50 選択された楽器、楽器 #3 を表すパッド 3。

D6 03 --- V 50 FX1 が選択されましたが、FX 効果は適用されていません。

D6 03 ---- 0 FX2 が選択され、パッド 3 はエフェクト #3 を表します - ボリューム = 50。

専用のパラメータボタンを素早くタップして選択をロックします (例 [Instrument])

トラック+エッセンシャル

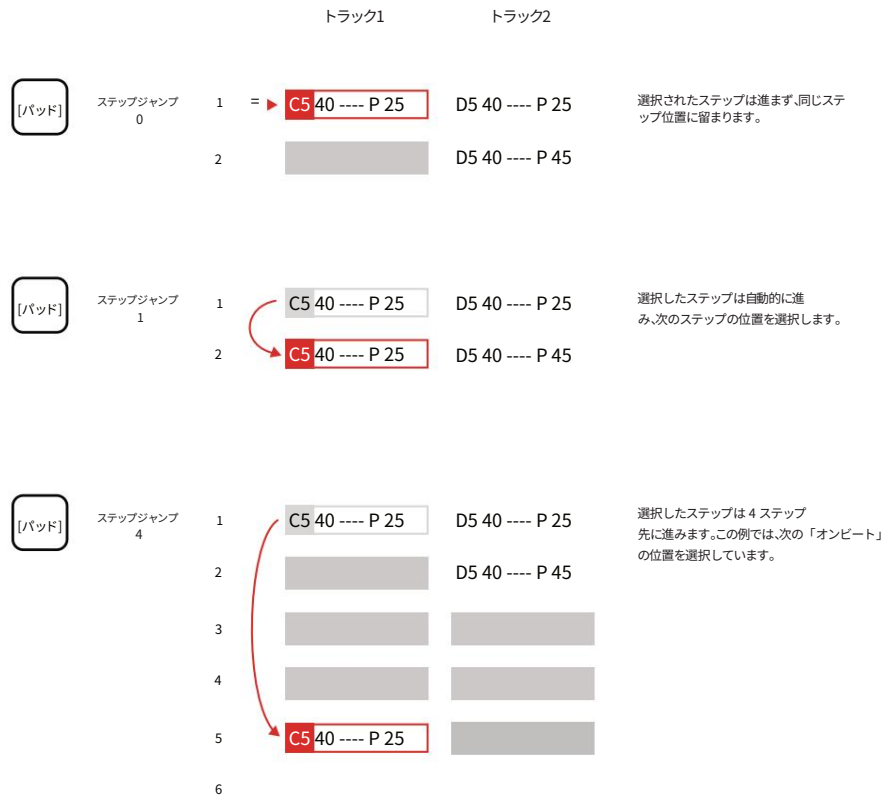
ノート

[PAD] を使用してステップを追加すると、アクティブなステップは完了時に自動的に次のステップに進みます。この間隔は、「ステップ ジャンプ」機能に基づいています。これは、定義された間隔でパターンを作成し、ワークフローを高速化するのに役立ちます。

ステップジャンプの例



パターンのステップを編集するには録音モードをオンにします



ステップ ジャンプ設定は、特定の間隔 (たとえば、各オンビート ステップ、各オフビート ステップ、またはパーカッションの代替ステップなど) を入力するときに便利です。これにより、ワークフローが高速化され、興味深いシーケンスを作成するのに役立ちます。

ノート

FXステップ。

2つのFXスロットには、FXエフェクトのライブラリから値を入力できます。各FXには、エフェクトタイプとそれに関連付けられた値があります。

FXタイプの説明	
-	なし。空のFX1またはFX1エフェクト。エフェクトは適用されません。
!	オフ。前のエフェクトステップで使用されたエフェクトをオフに切り替えます。
	MIDIのVボリュームまたはベロシティ (NOTE OFF)。
ボ	ステップサウンドをステレオ平面的に左/右に配置します。
	Mマイクロチューン。ノートとMIDI出力の微調整。
	G前のノートから現在のノートまでのグライド時間 - ノートのピッチに基づきます。
	Tテンポ変更。パターンのテンポを変更します。
・	スイング。任意のステップトラックからのスイングをパターン全体に適用します。
m	mマイクロ移動は、ステップの位置を少しずつ前方に移動します。
q	ゲートの長さ。ステップノートのゲートの長さを調整します。
	Cチャンスは、音が鳴る確率です。
R	Rロール、ビートでは、音量またはピッチの増減のオプションを使用して音符を繰り返します。
	ピッチベースのメロディーを作成するためのアルペジエーター。(MIDIコードも必要)
ん	ランダムノート。ランダム再生するノートの範囲を設定します。
・	ランダム楽器。ランダム再生する楽器の範囲を設定します。
・	ランダムFX。選択した範囲のステップにランダムFXを設定します。
ヴ	ランダムボリューム。各サイクルでランダムな速度変化を設定します。
「	サンプルの再生を逆方向に行います。再生終了から開始まで。
p	サンプル開始、ウェーブテーブル、またはグラニューラ位置の再生位置を設定します
ス	ステップの選択されたスライスを再生します - スライスされたサンプル
ッ	ボリュームLFOレート
h	パンニングLFOレート
じ	フィルターLFOレート
け	ポジションLFOレート
・	LFOレートを微調整する

トラッカー+エッセンシャル

ノート

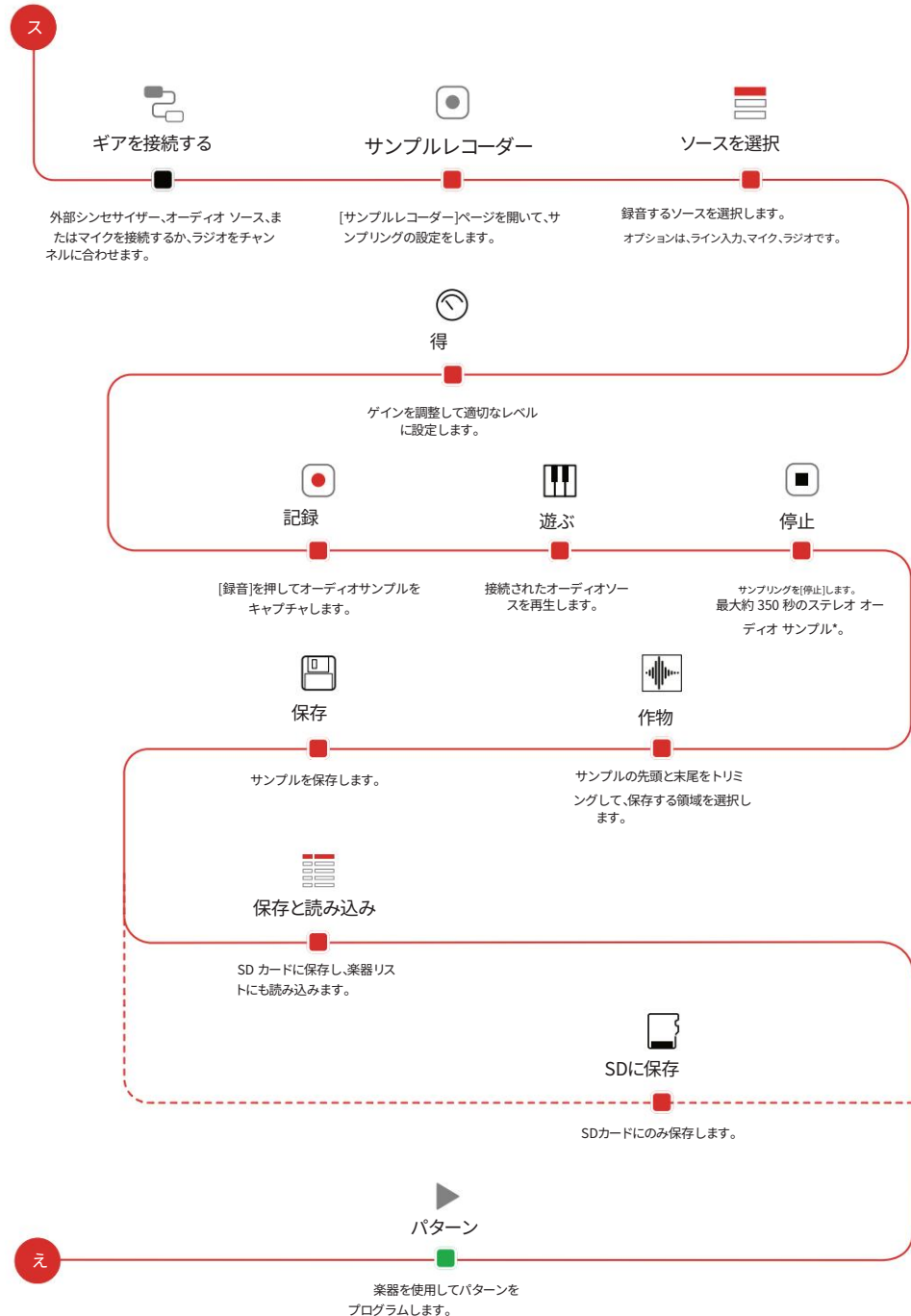
FXタイプの説明	
だ	ステップのオーバードライブ量
ら	ローパスフィルターのカットオフ。0~100%で表される周波数
	Bローパスフィルターのカットオフ。周波数は0~100%で表されます。
	Hローパスフィルターのカットオフ。周波数は 0 ~ 100% で表されます。
s	遅延。送信効果の量 0-100%
t	リバーブ。センドエフェクトの量 0-100%
え	ビット深度。4 ビットから 16 ビット。
***	チューニング。-24 半音から +24 半音。4 オクターブの範囲。
ふ	スライドアップ量。範囲は 0 ~ 255 で、1/16半音刻みです。
J	スライドダウン量。範囲は 0 ~ 255 で、1/16半音刻みです。
***	CC A / マクロ 1 (シンセ マクロの MIDI CC 番号)。MIDI では、ステップに割り当てられたチャンネルとインストゥルメントも必要です。
b	CC B / マクロ 2 (シンセ マクロの MIDI CC 番号)。MIDI では、ステップに割り当てられたチャンネルとインストゥルメントも必要です。
c	CC C / マクロ 3 (シンセ マクロの MIDI CC 番号)。MIDI では、ステップに割り当てられたチャンネルとインストゥルメントも必要です。
d	CC D / マクロ 4 (シンセ マクロの MIDI CC 番号)。MIDI では、ステップに割り当てられたチャンネルとインストゥルメントも必要です。
e	CC E / マクロ 5 (シンセ マクロの MIDI CC 番号)。MIDI では、ステップに割り当てられたチャンネルとインストゥルメントも必要です。
ふ	CC F / マクロ 6 (シンセ マクロの MIDI CC 番号)。MIDI では、ステップに割り当てられたチャンネルとインストゥルメントも必要です。
0	MIDI コード、ノート出力。(Arp でも使用されます)。

ノート

オーディオの録音

Tracker+ でのサンプリングは、「サンプルレコーダー」ページで行われます。これがプロセスの最初のステップであり、その後にキャプチャされたオーディオの編集が行われます。

このページのサンプリングは、ライン入力またはラジオ、マイク LG または HG オーディオ ソースからのステレオまたはモノラル L または R (構成で設定) にすることができます。

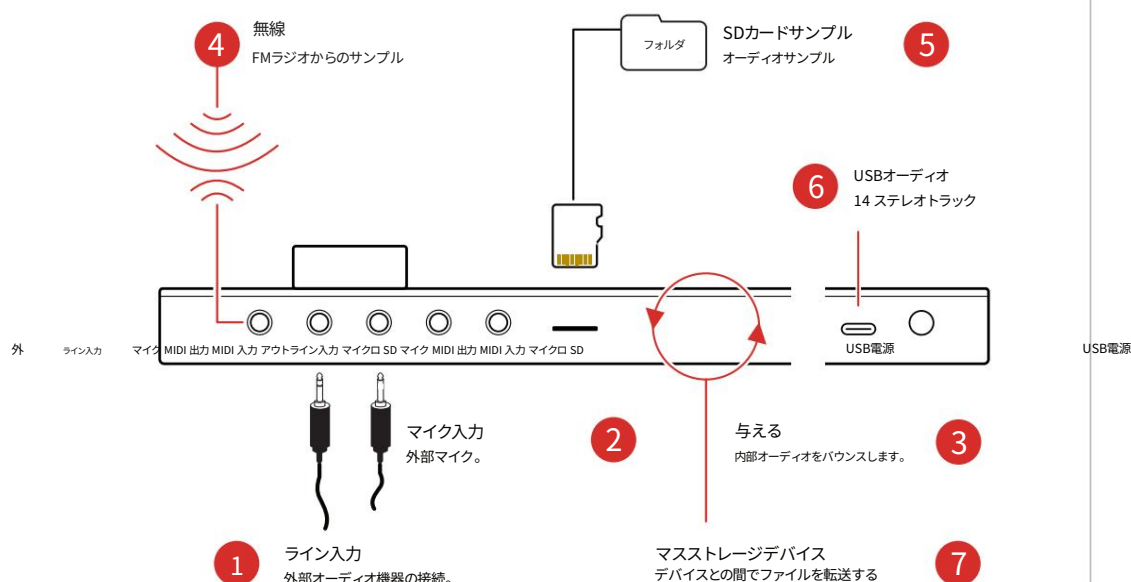


*サンプル時間: 最大約 350 秒 (ステレオ) / 約 700 秒 (モノラル)。

トラッカー+エッセンシャル

オーディオソース

Tracker+ がオーディオにアクセスできるソースは多数あります。その一部は「ライブ」ソースであり、簡単にサンプリングできます。その他のソースは手動で管理されるか、デバイス内でレンダリングされます。



- 1 **ライン入力**
ステレオ (TRS) およびモノラル (TS) オーディオ入力に可能にする 3.5mm 入力ジャック。ステレオ信号はステレオとして録音されます。
- 2 **マイク入力**
3.5mm マイク入力ジャック。ステレオ (TRS) およびモノラル (TS) オーディオ入力が可能です。ステレオ信号は録音時にモノラルに変換されます。48V ファンタム電源は供給されないため、通常はダイナミック マイクを使用します。マイクには、低ゲイン - LG と高ゲイン - HG のオプションがあります。
- 3 **与える**
内部機能で利用できる機能はレンダリングです。これは、選択したパターン/トラックに基づいてオーディオ ファイルをバウンスまたはエクスポートし、すぐにサンプルとして利用したり、インストゥルメント リストから使用したりできるようにします。
- 4 **FMラジオ**
Tracker+ には FM ラジオが内蔵されています。アンテナまたはケーブルを出力接続に接続することで受信状態を改善できます。受信地域はラジオ機能で設定できます。ラジオは Tracker+ 内で直接録音およびサンプリングできます。
- 5 **SDカード**
オーディオ サンプルは SD カードに保存されます。これらは Tracker+ 内からサンプリングして保存できますが、PC または Mac を使用して外部ソースから SD カードに手動で転送することもできます。
- 6 **USBオーディオ**
USB オーディオ インターフェイスでは、マスター ステレオ トラック、8 つのステレオ サンプル ベース トラック、3 つのシンセ インスツルメント トラック、リバブ、ディレイの 14 個のステレオ トラックを、接続された DAW または互換性のあるオーディオ デバイスに送信できます。
- 7 **マスタストレージデバイス**
オーディオ ファイルは、PC または Mac を使用して Tracker+ とやり取りできます。接続すると、Tracker はリモート ハード ドライブのように動作します。

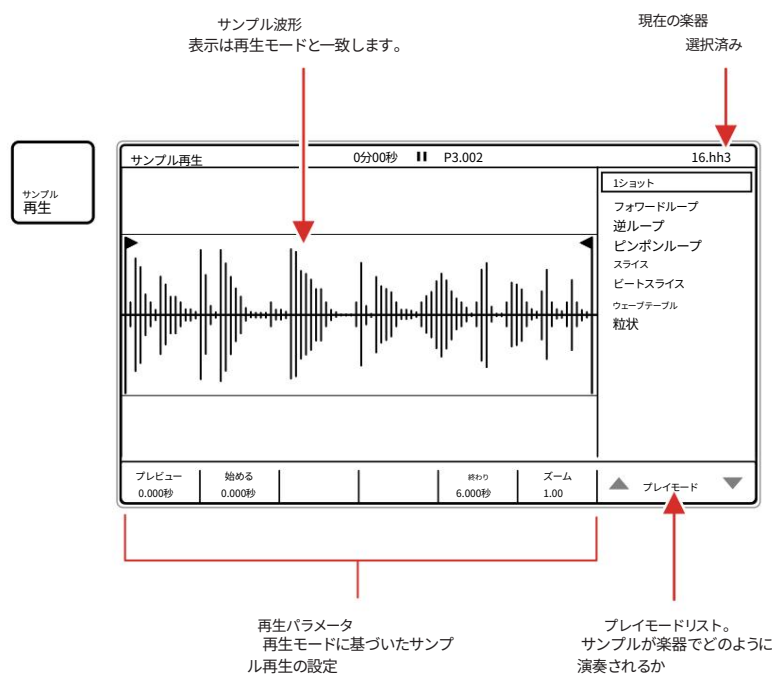
Tracker+ には、外部機器との接続や、より一般的な 6.3mm モノラル ケーブルの使用を可能にする 3.5mm ステレオ オス ジャックから 2 x 6.3mm モノラル メス ソケット アダプターが付属しています。

サンプル再生の概要

楽器はシンセサイザーやサンプル、編集済みまたは未加工のものにすることができます。未加工の '.wav' サンプルを楽器リストに追加できます。サンプルを編集して楽器としてさらに開発すると、'.pti' 楽器として保存できます (例: 'drumkit1.pti')。これはすべてのプロジェクトで使用したり、他のプロデューサーに配布したりできます。サンプルベースの楽器はトラック 1 ~ 8 のステップでのみ使用されますが、MIDI とシンセはすべてのトラックで使用できます。

このセクションでは、.pti インストゥルメントの使用の基本について説明します。エンドツーエンドのキャプチャ、編集、サンプリングについては、他のセクションで説明されている内容ではありません。

サンプルを楽器として適用する方法は、専用の [サンプル再生] ボタンからアクセスできる「サンプル再生」ページで処理されます。



注意: 再生中、波形表示では再生が視覚的にアニメーション化されません。

タイプ	プレイモードの説明	
遊ぶ	1ショット	基本的なサンプル再生。最初から最後まで1回再生します。
ループ	順方向ループ	サンプル再生。最初から最後まで再生し、ループで循環します。
ループ	逆方向ループ	サンプル再生。最後から最初まで再生し、ループで循環します。
ループ	ピンポン	ループ サンプルの再生。最初から最後まで再生してループを開始します。
スライス	スライス	サンプルはスライスされます
スライス	ビートスライス	サンプルはスライスされます
シンセサイザーウェーブテーブル		サンプルはシンセのようにウェーブテーブルとして使用されます。
シンセサイザーグラニューラ		サンプル粒子はグラニューラシンセのように使用され、再生されます

トラッカー+エッセンシャル

シンセサイザー。

Tracker+ には 3 つのシンセサイザー スロットがあり、それぞれに 5 つのシンセサイザー モデルのうち 1 つを割り当てることができます。各シンセサイザーには、ノブ セクション内で直接使用できる、モデルに依存する編集可能なマクロが 6 つあり、全体的なシンセ パッチに貢献します。

オーストラリア



ACD は、象徴的なシングルオシレーターモノフォニック アナログシンセサイザーを再現し、エレクトロニック ミュージックの黄金時代へとあなたを誘います。日本の伝説に敬意を表した ACD は、これらのクラシックのエッセンスを捉えるだけでなく、超高速の合成体験であなたを未来へと導きます。忠実なモノフォニック アナログの再現から、まったくユニークで革新的なサウンドスケープまで、豊富なオプションを提供します。

電子タバコ



VAP は、デュアルを誇るパーチャルアナログポリシンセです。発振器アーキテクチャと多用途モジュレーションマトリックス。複数のフィルター フレーパーとパルス幅変調を備えた VAP を使用すると、複雑なパターンを作成できます。このエンジンは、魅惑的で進化するテクスチャの作成、豊かなパッドの作成、ユニークなサウンド エフェクトの創出に最適です。

ベルク



PERC は、1 つのシンセ エンジン インストゥルメント。1 つのボイスを使用しますが、最大 5 つのユニークなドラム サウンドを同時に再生できます。ドラムには、キック、タム、スネア、オープン ハイハットとクローズド ハイハット、シンバル、パーカッションが含まれます。パーカッション ドラムには、スネア、クラブ、カウベルなど、複数のオプションがあります。各ドラムは、ヒットごとに複数のパラメーターを使用して個別に調整できるため、非常に多様なドラム トーンを実現できます。

[Instrument] を押したままにして、ステップのシンセを選択します。シンセ インストゥルメント ステップでモデルを割り当てるシンセを選択するには、[Instrument Parameters] を押します。スロットごとに割り当てる 5 つのシンセ モデルから選択するか、シンセ パッチをロードします。

今後の OS アップデートでは、Tracker+ オプション リストにさらに新しいシンセ モデルが追加される予定です。

脂肪



FAT は、クラシックなアナログシンセサイザーの豊かでビンテージな暖かさを体現した強力なシンセ エンジンです。FAT は、その中核に 3 つの仮想アナログ オシレーターを搭載し、直感的なドリフトとデチューン コントロールを備えているため、象徴的な重厚なサウンドを簡単に作り出すことができます。プリセットには、2 つのユニークなアナログ クラシックにインスパイアされた 2 種類のラダー フィルターが含まれています。深みのあるリース ベースから優美なパッド、表現力豊かなリード、クラシック キーボードまで、多彩なサウンドを提供します。

すごい



WTFM は、3 倍のフィードバック システムで駆動されるウェーブテーブルベースのオシレーターを使用した、ユニークな 2 オペレーター FM シンセ エンジンです。オペレーターは、基本的な正弦波から倍音豊かな音色まで、スイープ ウェーブテーブルに基づいており、多様な音色パレットを提供します。滑らかで包み込むようなパッドを彫刻する場合でも、最先端のメタリックトーンを作成する場合でも、WTFM を使用すると、正確かつ本物らしくユニークなテクスチャを実現できます。

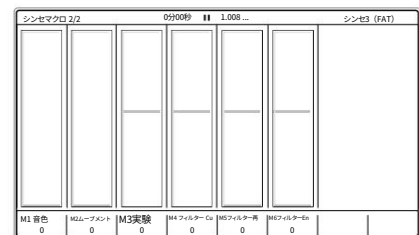
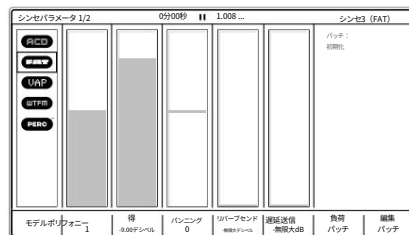
ノート

■ シンセの選択

1. 作業するプロジェクトが開いておりアクティブであり、編集するパターンが選択されていることを確認します。
2. ステップインストゥルメントのシンセを選択します。目的のステップで、ホールド [インストゥルメント] + 回す (ジョグ) か矢印を使用して、Synth 1、Synth 2、または Synth 3 のインストゥルメント スロットを選択します。
3. 選択したシンセとそれに割り当てられたモデルがステップに適用されます。シンセは 16トラックのどのステップにも適用できます。
4. シンセを編集し、選択したステップのシンセのモデルを変更するには、[Instrument Parameters] を押します。ページ 1/2 が選択されていることを確認します。
5. [Model]を押すと、選択したスロットのシンセモデルが切り替わります。
6. [Load Patch]を押すとシンセパッチをロードできます。
7. その他のパラメータは、インストゥルメントパラメータページで使用できます。シンセパッチを設定および設計するには、[Edit Patch]を押してパッチエディタを開き、サウンドを作成して保存します。
8. シンセマクロを使用すると、特定の簡単な割り当てが可能になります。アクセス パラメータ。これらは、インストゥルメント パラメータ ページの 2/2 ページで調整でき、パッチ内で割り当てられます。

シンセパラメータとマクロの例

シンセモデル、エディター、パッチの選択は 1 ページ目で使用でき、パッチ固有のマクロはインストゥルメントパラメーター ページの 2 ページ目で使用できます。



脂肪
電子タバコ
すごい
ベルク

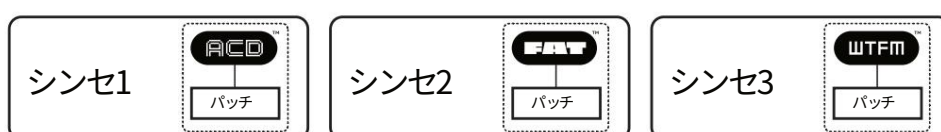
マクロ1 音色
マクロ2 動き
マクロ3 実験
マクロ4 フィルターカットオフ
マクロ5 フィルターレゾナンス
マクロ6 フィルター環境量

トラッカー+エッセンシャル

シンセサイザーパッチエディター

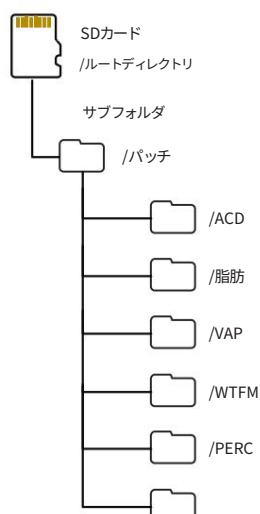
Tracker+ には、正確なサウンドを定義するパッチで動作する 3 つのシンセサイザーがあります。各パッチは、割り当てられたシンセ モデルを表します。パラメータはマクロ ノブから直接制御できます。パッチは Tracker+ パッチ エディタ内で作成および編集できます。マクロ割り当てとノブのパラメータ設定も、パッチごとに構成できます。

3つのシンセが用意されており、それぞれに5つのシンセモデルのいずれかを割り当てることができます。



パッチ エディターは、シンセが選択されている場合、[インストールメント パラメーター] - ページ 2 にあります。

各シンセモデルのパッチは編集でき、SD カードに保存できます。その後、シンセスロットごとに読み込むことができます。



シンセステップを選択すると、パッチを編集して保存できます。シンセパッチエディターは、[インストールメントパラメータ]セクションにあります。

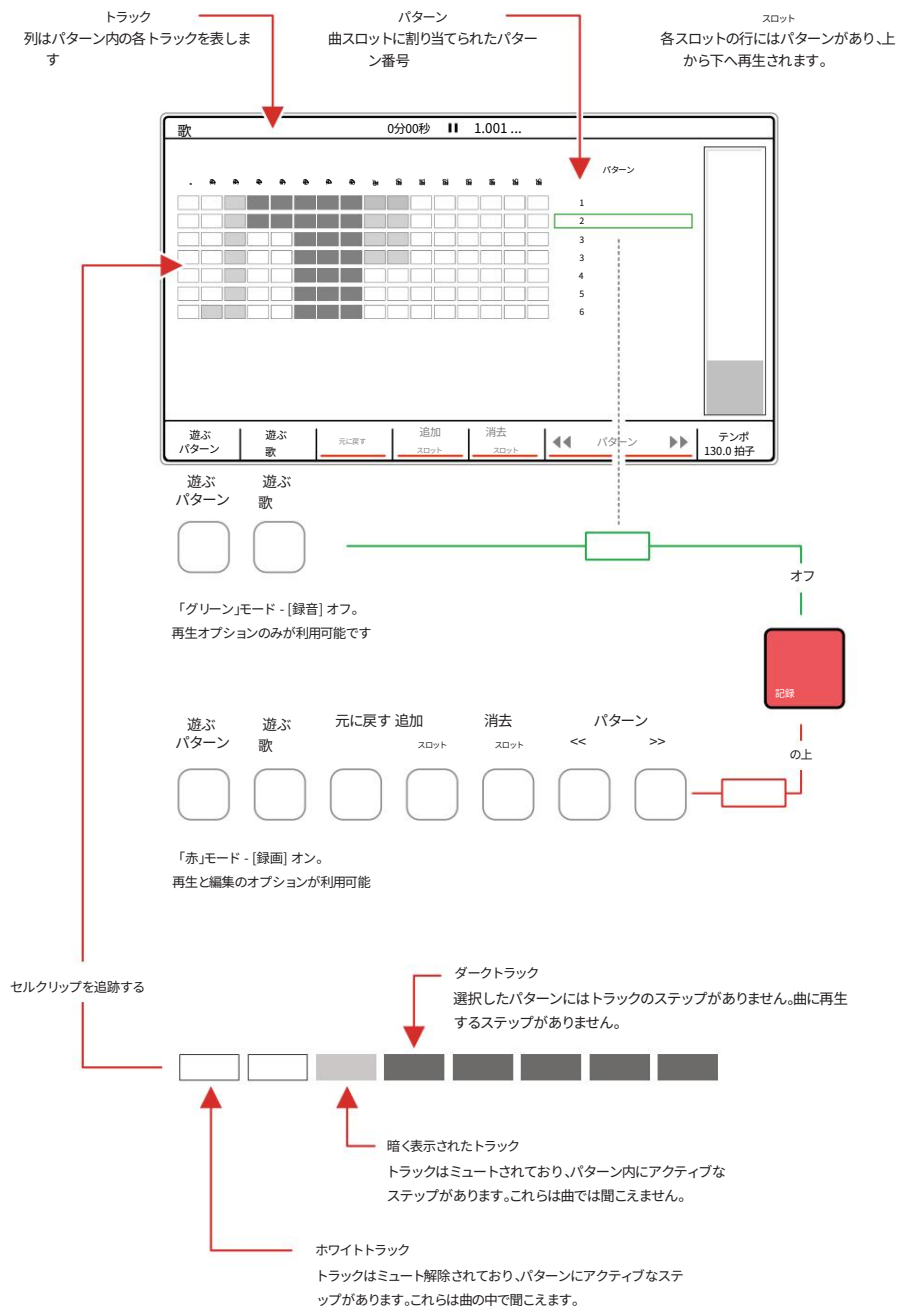
- モデルは機器パラメータページ 1 で直接変更されます。
- [Load Patch] (ボタン7)を選択して、SDカードからパッチをロードします。
- [パッチの編集]、ボタン8を選択してシンセエディターを開きます。
- 4x4 パッドは編集するシンセ機能を選択します。使用可能なオプションは、選択したシンセ モデル タイプによって異なります。
- 矢印ボタンでパラメータを移動し、(ジョグ)を使用します。パラメータ値編集用のコントロール。

ノート

ソングモード

[Song] を押してソング ページを選択するか、[Song] を押したままにして別のページ内から一時的にページを表示し、[Song] を放すとこのページに戻ります。ソング モードのインターフェイスは、パターン 1 の単一のスロット 1 以外はデフォルトで空です。最大 255 個のソング スロットが使用できます。

ソングモードで[再生]を押すと、個々のパターンだけでなく曲全体が再生されます。スロットのパターン内のトラックはセル クリップとして表されます。



トラックのミュート

ミュートはソング モードでは実行されません。ミュート/ミュート解除するには、パターン ページまたはトラック ミキサー - マスター ページ 2/3 を使用します。

トラッカー+エッセンシャル

ミディ

ノート

MIDI を操作するための前提条件は、[Config] メニューの構成設定が目的の MIDI ギア設定に適用されていることを確認することです。

これらは、Tracker+ がクロックやトランスポートなどの機能をリードするか、またはセカンダリ フォロワーとして動作して、別のプライマリ デバイス コントロールからの制御と同期に応答するかを決定します。また、ノートおよび CC の動作も設定されます。

メニュー	オプション	説明
ミディ	出勤	Tracker+ クロックを、内部で生成されたクロック (デフォルト) または USB または MIDI 入力ジャックから受信した外部クロックの間で設定します。
ミディ	退勤	Tracker+ クロック出力を他のデバイスに送信します。オフ、USB、MIDI 出力ジャック、または USB + MIDI ジャックのオプション。
ミディ	輸送イン	トランスポート制御コマンドのソースを、内部 (デフォルト) 、または USB または MIDI 入力ジャックを介して受信した外部デバイスからの制御に設定します。
ミディ	輸送アウト	Tracker+ トランスポート コントロール コマンドを他のデバイスに送信します。オフ、USB、MIDI 出力ジャック、または USB+MIDI ジャック オプションに設定します。
ミディ	ノート	外部デバイスからノートを受信する方法の入力を設定します。オフ、USB、MIDI 入力ジャック、または USB + MIDI ジャックのオプションに設定します。
ミディ	ノート入力チャンネル	外部ノート入力の MIDI チャンネルを設定します。すべてのチャンネルまたは Ch 1-16 を選択します。
ミディ	MIDI出力	他のデバイスと通信するための MIDI の出力ルーティングを設定します。オフ、USB、MIDI 出力ジャック、または USB + MIDI ジャックのオプションに設定します。
ミディ	CC入力	外部デバイスからの CC (コントロール チェンジ) 入力の処理方法を定義します。オフ、USB、MIDI 入力ジャック、USB + MIDI 入力ジャックに設定します。
ミディ	CC 入力チャンネル	CC (コントロール チェンジ) メッセージを受信するために使用する MIDI チャンネルを設定します。すべてのチャンネルまたは Ch 1-16 を選択します。
ミディ	中央のC	Tracker+ の中央 C を C-3、C-4、C-5、C-6 に設定します。自然に一致しない場合は、これによりノート範囲が外部ギアに合わせて調整されます。
ミディ	クロック同期遅延	着信クロック同期の遅延補正。オプションの範囲は -50 ~ +50 で、各単位はパターン ステップの 1/250 です。同期エラーがない限り、デフォルトの 0.0 のままにしておきます。

ペロシティは外部 MIDI コントローラーから記録できますが、記録オプションで設定する必要があります。

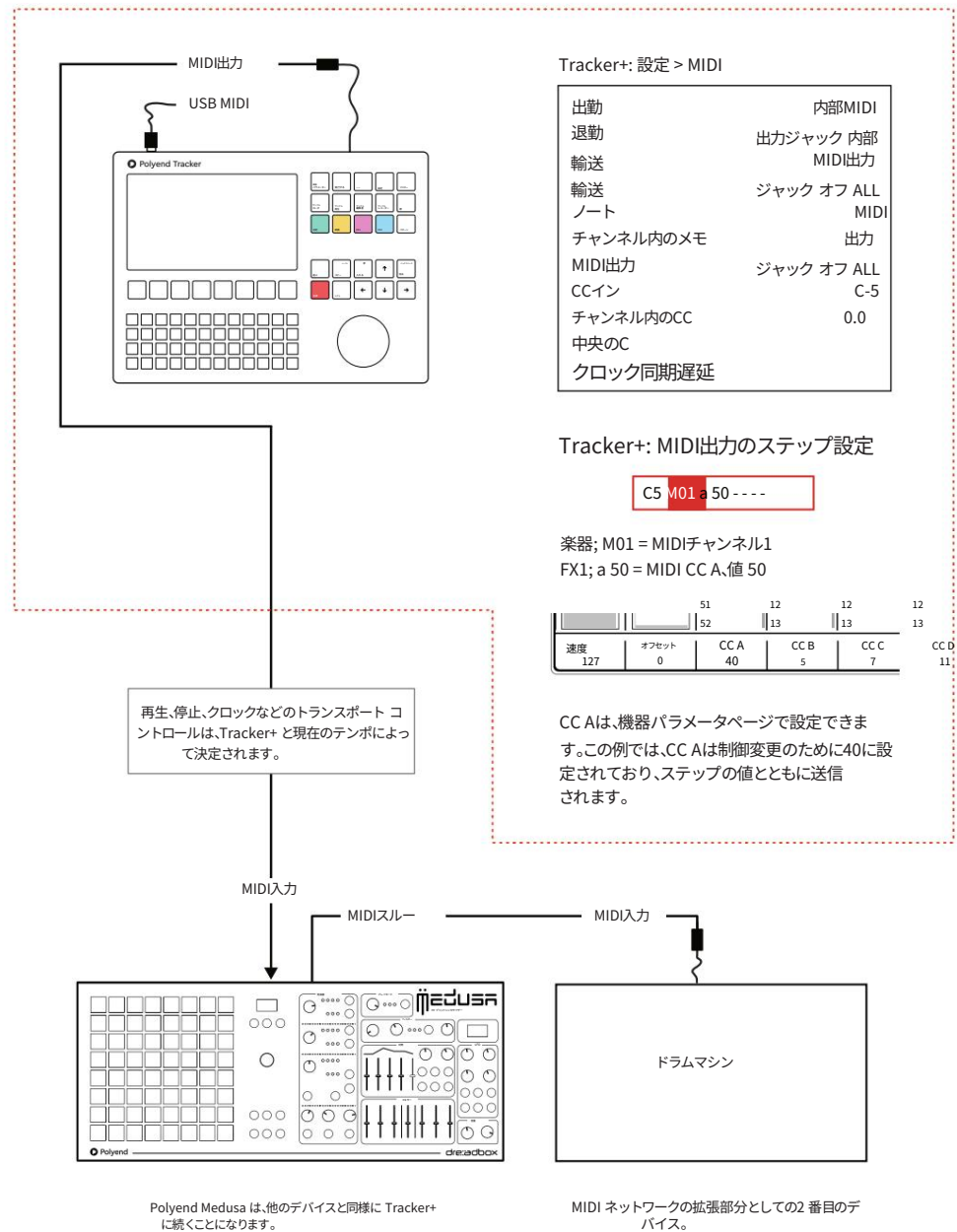
メニュー	オプション	説明
プロジェクト記録オプション		このオプションは、プロジェクトの記録オプションを設定します。外部コントローラーからの速度を記録するには、速度を含むオプションの 1 つを選択する必要があります。

トラッカー+エッセンシャル

ノート

MIDI 機器で設定できる構成は多数あります。複雑で複数のデバイスを必要とするものもありますが、シンプルな設定では 2 つのデバイスが通信できます。いくつかの典型的な例を示します。

構成例 1: Tracker+ をプライマリ リードとして使用します。



デバイスは、クロックとトランスポート、および Tracker+ が通信する MIDI チャンネル (たとえば、チャンネル 1) を受信するように構成する必要があります。Medusa の CC 40 はフィルター カットオフ周波数を表し、この例では Tracker+ の各ステップでフィルター カットオフが設定されます。

トラック+エッセンシャル

パフォーマンスモードの概要

パフォーマンス モードでは、トラック、パターン、曲をリアルタイムで即興的にコントロールできるため、ライブ演奏時にバリエーションと面白さを加えることができます。これは通常、「パフォーマンス」ページで処理されますが、MIDI 入力を設定してパフォーマンス パラメータを制御することもできます。



パフォーマンス モード[Perform]
 を押してパフォーマンス モード画面を選択し、パラメーターを編集して録音モードでエフェクトを構成するには、[Rec] を押します。パフォーマンス モードがアクティブな間は、パターン ページとソング ページを切り替えることができます。

再生ステータス
 パターンループ再生または全編再生を表示します。

実行ステータスパフォーマンス
 モードがアクティブであることを示します。

MIDI CC上段
 の MIDI CC 制御可能な値を示します。

パフォーマンスFX		05:00時 1.028 円 CC															
編	パ	パ	パ	パ	パ	パ	パ	パ	パ	パ	パ	パ	パ	パ	パ	パ	パ
-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1
-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1
-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1

パンチンエフェクト
 12 個の設定可能なパフォーマンスエフェクトスロット

トラック選択適用されたパフォーマンス エフェクトの影響を受ける
 トラックを選択します (赤で表示されず)。

パンチンパラメータ
 エフェクトパラメータ (エフェクトごとに4つ) は、4 x 12 のパッドグリッド内のパッドごとに表示されます。

パッド グリッド

各パッドは、12 個のエフェクトに対して定義された値のオン/オフを表します。エフェクト値は行 1 で設定可能で、デフォルトではオフ (--) に設定されています。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1
-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1
-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1

選択されたエフェクトは Tracker+ 画面上で緑色または赤色 (編集中の場合) で表示され、それぞれのパッドが点灯します。



REC モード[Rec]
 を押すと、パフォーマンス設定を編集できます。選択範囲は赤で表示され、エフェクト選択の境界ボックスも赤く表示されます。エフェクトの設定や値の編集は、Perform の REC モードで行うことができます。

パフォーマンスFX

編

-1

-1

-1

ノート

実行エフェクトリスト

Tracker+ には 21 のパフォーマンス エフェクトがあり、12 個のエフェクト スロットのそれぞれに選択してロードできます。同じエフェクトを複数のスロットに適用できます。これらはエフェクトと呼ばれていますが、実際にはパラメータ値にバリエーションを適用するパラメータを制御します。

効果 #	名前	範囲 / コメント
1	音量	-100 から +100 まで。 音量調整
2	パンニング	-100 から +100 ステレオポジション
3	曲	-48 から +48 半音、MIDI にも適用されます。
4	ローパスカットオフ	-100 から +100 まで。 フィルター周波数調整
5	ハイパスカットオフ	-100 から +100 まで。 フィルター周波数調整
6	バンドパスカットオフ	-100 から +100 まで。 フィルター周波数調整
7	リバーブセンド	-100 から +100 まで。 FXセンドレベル
8	遅延送信	-100 から +100 まで。 FXセンドレベル
9	サンプル位置	-100 から +100 まで。 オーディオサンプルの開始位置
10	サンプル終了	-100 から +100 まで。 オーディオサンプルの終了位置
11	サンプル再生	<<< >>> 後方、前方方向。
12	ボリュームLFOスピード	-28 から +28 まで。 LFO スピード
13	パンニングLFOスピード	-28 から +28 まで。 LFO スピード
14	LFO速度を微調整する	-28 から +28 まで。 LFO スピード
15	フィルターLFOスピード	-28 から +28 まで。 LFO スピード
16	グレイン/WT LFOスピード	-28 から +28 まで。 LFO スピード
17	ステップリピーター	オフ、16、12、8、6、4、3、2、1、1/2、1/3、1/4、1/6、1/8、1/12、1/16。
18	パターン再生モード	前進、後退、ラウンド、C1-C20 固定または事前定義されたアルゴリズム「C」再生モード
19	パターンの長さ	1-128 合計の長さ (すべてのトラック - 選択されているかどうかに関係なく)
20	ビット深度	-12 から +12 ビット深度調整
21	オーバードライブ	-100 から +100 オーバードライブ調整

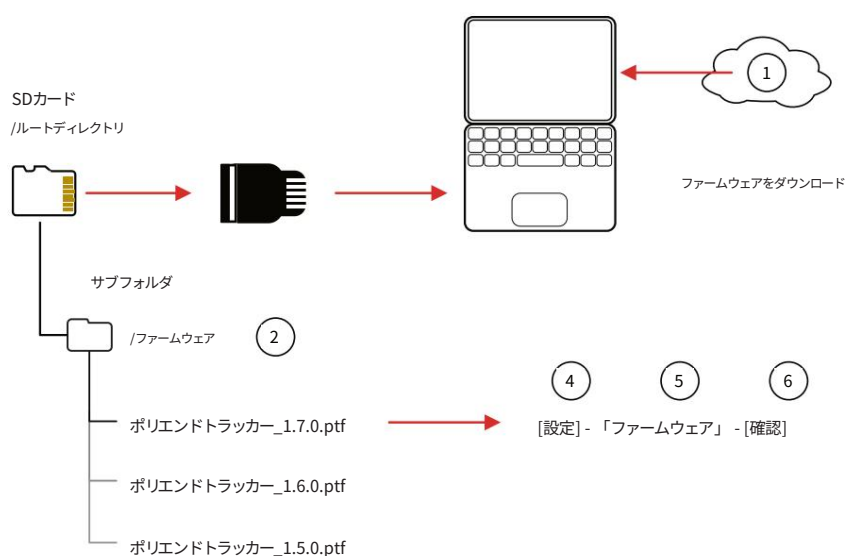
トラッカー+エッセンシャル

一般的なファームウェアアップデート

バグを修正したり、新機能を追加したりするために、Polyend からファームウェア アップデートが随時提供されることがあります。アップデートのプロセスはいくつかの方法で実行できます。アップデートを実行するときは、各アップデートに付属する Polyend の指示に従うことを強くお勧めします。ここでの指示は一般的なガイドです。

■ ファームウェアアップデート

1. Tracker+ の公式 Polyend サイトから最新のファームウェアをダウンロードします。
2. ダウンロードした .ptf ファームウェア ファイルを /Firmware フォルダにコピーします。このフォルダは SD カードのルート ディレクトリにあります。
3. SDカードをTracker+に挿入し、電源を入れます。
4. [Config]を押して構成と設定メニューを開きます。
5. 「ファームウェア」メニューに移動します。中央のウィンドウで、インストールするファームウェア オプションを選択します。
6. [確認]、画面ボタンを押します。
7. ファームウェアがインストールされ、画面に表示されるプロンプトに従って操作します。インストールプロセスは通常 1 分未満です。
8. Tracker+は再起動しますが、手動で起動する必要がある場合はオン/オフを押してください。更新が100%完了した後。



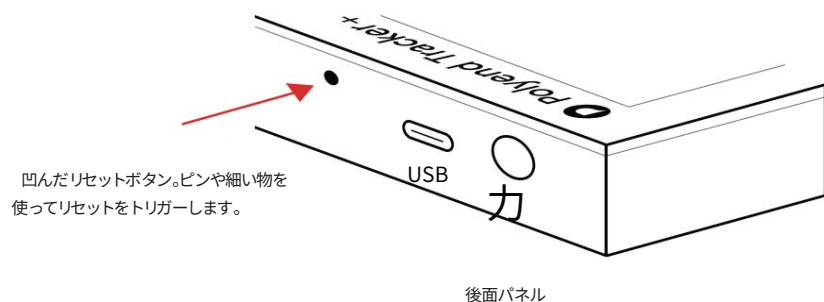
ノート

緊急ファームウェアアップデート

ファームウェア更新の代替オプションも用意されていますが、これは第一の選択肢ではありませんが、トラブルシューティングの際に使用できます。リアパネルの裏側にリセット ボタンがあります。また、特別な Polyend ツールをダウンロードして更新に使用することもできます。どちらの方法も、主要な更新方法に問題があるか、Tracker+ の問題を解決する場合にのみ使用してください。更新の通常のプロセスとしては使用しないでください。

■ TRACKER+とファームウェアのリセット

1. Tracker+ の公式 Polyend サイトから最新のファームウェアをダウンロードします。
2. ダウンロードした .ptf ファームウェア ファイルを /Firmware フォルダにコピーします。これは SD カードのルート ディレクトリにあります。また、以前の更新ファイルがファームウェア フォルダに残っていることを確認します。
3. SDカードをTracker+に挿入します。
4. ピンまたは細いものを使用して、内部リセット ボタンを押します。このボタンは、デバイスの背面、ケースの裏側、USB 接続の隣にあります。
5. Tracker+ はリセットされ、SD カード上のファームウェア フォルダを検索します。Tracker+ を動作状態に回復するために、ランダムなファームウェアが選択され、インストールされます。インストール プロセスは通常 1 分未満です。



リセット オプションは、Tracker+ でロックアップやフリーズが発生した場合に便利です。このような状況では、新しい OS をダウンロードする必要はありません。/firmware フォルダに、一連の公式で既知の正常なファームウェア リリースを保存しておくことをお勧めします。たとえば、1.7.0.1.6.0.1.5.0 などです。こうすることで、問題が発生した場合に手順 4 ~ 5 を実行でき、既知の状態からランダムに更新が実行されます。その後、「config」メニューで最新バージョンを選択して手動で更新できます。

トラック+エッセンシャル

クイックリファレンスコマンド

機能アクション	トラック+ボタン	説明
マスター	マスターボリューム [マスター]+ターン (ジョグ)	マスター出力を調整します
マスター	マスターテンポ [歌]+ターン (ジョグ)	マスターテンポを調整します
マスター	一般的なナビゲーション [上],[下],[ジョグ]	一般的にメニューの選択やオプションをナビゲート、スクロールする
マスター	一般的なナビゲーション [左],[右]	一般的に、ページ ウィンドウ、サブ メニュー、機能、表示列間を移動します。
マスター	コピーペースト [コピーペースト]	コンテキストに応じて、関数間でコピーと貼り付け、つまりパターンをコピーします。
マスター	削除 / バックスペース [削除/バックスペース]	コンテキストに応じて、削除/バックアップします。また、選択したパラメータをデフォルト状態にリセットします。
マスター	値を編集 [Shift]+回転 (ジョグ)	すべてのページで増分変更が高速化されます。標準調整には (ジョグ) のみを使用します。
パターン	パターンモードページ[パターン]	パターンモードページを選択します。
パターン	プレイパターン [遊ぶ]	パターンを最初から再生します。すでに再生中の場合はパターンを停止/一時停止します。
パターン	プレイを続ける [Shift]+[再生]	現在一時停止している位置からパターンの再生を再開します
パターン	曲を再生 [曲]+[再生]	パターン モード ページ内から曲を再生します。
パターン	8トラックノートビュー [パターン]+[ノート]	デフォルトの4つのトラックの代わりに、ノートのみを含む8つのトラックをすべて表示します。2つの要素を表示できます (つまり + [FX1],[FX2],[Instrument])
パターン	8トラックインストビュー [パターン]+[インストゥルメント]	4つのトラックではなく、楽器のみの8つのトラックを表示します。2つの要素を表示できます。つまり、+ [FX1],[FX2],[Note]
パターン	8トラックFXビュー [パターン]+ [FX1] または [FX2]	デフォルトの4トラックの代わりに、FXのみを含む8トラックすべてを表示します。2つの要素を表示できます (+ [Note],[Instrument])
パターン	4トラックビュー [パターン]	8トラックを表示しているときにデフォルトの4トラックを復元します
パターン	チェックパターン [パターン]画面ボタンを押し続ける	パターン画面ボタンを押し続けると、点灯したパッドに反映される利用可能なパターンが表示されます。
パターン	パターンを選択 [パターン]+[上],[下],[ジョグ]	パターン番号を選択
パターン	連続変更 [パターン]+[左]または[右]	再生中に、現在のパターンが終了したときに再生を開始するキューとして新しいパターンを選択します。パターンは赤く点滅します。
パターン	連続変更 [パターン]+[左]または[右]	再生中に、現在のパターンが終了したときに再生を開始するキューとして新しいパターンを選択します。パターンは赤く点滅します。
パターン	即時変更 [パターン]+[上]または[下]	再生中に新しいパターンを選択すると、すぐに開始がトリガーされます。
パターン	即時変更 [上]または[下]または(ジョグ)または[PAD]	再生中に新しいパターンを選択すると、すぐに開始がトリガーされます。
パターン	複数ステップの選択 [Shift]+[上][下][左][右] 複数のステップのグループを選択して一括編集します。	
パターン	複数ステップ選択 [Shift]+[上へ] 最初のステップで	現在のトラックのすべてのステップを選択します
パターン	複数ステップ選択 [Shift]+[上]+[上] 最初のステップですべてのトラックのすべてのステップを選択します	
パターン	トラックをミュートする [Shift]+スクリーンボタン	パターン モード ページでは、画面ボタン 1~8 はそれぞれトラック 1~8 のミュート/ミュート解除を切り替えます。
パターン	パラメータをロック 選択 専用パラメータボタンをタップ	編集またはナビゲート時に、ノート、インストゥルメント、FX1またはFX2パラメータの選択をロックします。また、[Shift]+

クイックリファレンスコマンド

関数	アクション	トラック+ボタン	説明
パターン	武装/武装解除	[Shift] + [Rec] + スクリーンボタン	トラックを録音用にアームまたはアーム解除します。アーム解除されたトラックでは録音できません。画面のボタンはトラックを表します。
パターン	ライブ録画 > 再生	[レック]	ライブ録音中に[Rec]を押すと再生は継続されますが、録音モードは終了します。
パターン	ライブ録画開始	[Shift] + [録音]	ライブ録画を開始
パターン	一番上の行を選択	[Shift] + [挿入/Home]	停止すると、再生ヘッドが曲の一番上の行の開始またはパターンの開始にリセットされます。
ソングモードソング		[曲]を押し続ける	[Song] を押すとソングページに切り替わります。[Song] ボタンを押し続けると、別のページ内から一時的にソングページが表示されます。
曲モード 曲を再生		[遊ぶ]	現在の曲の行の先頭から曲を再生します。
ソングモード ソングの停止		[遊ぶ]	曲の再生を停止/一時停止します。
ソングモドループ行		[Shift] + [再生]	現在の曲の行/パターンの再生をループします
ソングモード選択 上段		[Shift] + [挿入/Home]	停止すると、再生ヘッドが曲の一番上の行の開始またはパターンの開始にリセットされます。
曲モードのテンポ		[歌] + ターン (ジョグ)	プロジェクトのテンポを 1 BPM 単位で 40 ~ 800 BPM に調整します。 (ジョグ)の代わりに[上]または[下]を使用するオプションもあります
曲モードのテンポ		[Shift] + [Song] + 回転 (ジョグ)	プロジェクトのテンポを 0.1 BPM 単位で 40 ~ 800 BPM に調整します。 (ジョグ)の代わりに[上]または[下]を使用するオプションもあります
実行する	遊ぶ	[遊ぶ]	パターンを再生する
実行する	遊ぶ	[Shift] + [再生]	曲を再生する
実行する	録音モード	[Shift] + [上],[下] または (ジョグ) 現在のスロットのパフォーマンス効果を変更します	
実行する	録音モード	[Shift] + [左] または [右]	スロット間のエフェクトの入れ替え
実行する	録音モード	[PAD] + 回転 (ジョグ)	各パッド行のエフェクト値のオフセットを編集します
実行する	録音モードではない [PAD] + 回転 (ジョグ)		各パッド行の一時的な変更効果値
実行する	選択する	[トラックx]	トリガーされたエフェクトを適用するトラックを選択します。トラックには赤いラベルが付けられています。
実行する	実行する	[パッド]	選択したトラックのエフェクトに対して選択した値をトリガーします。
実行する	リミックス	[トラックx] + ターン (ジョグ)	選択したトラックの新しいパターンをすぐにロードします。ライブ リミックス モード。ライブ リミックス モード。
実行する	リミックス	[トラックx] + [上] または [下]	選択したトラックの新しいパターンをすぐに読み込みます。ライブ リミックスモード。ライブリミックスモード
実行する	リミックス	[トラックx] + [左] または [右]	現在のパターンが完了したら、選択したトラックの新しいパターンをロードします。ライブ リミックス モード。
実行する	ミュート/ミュート解除	[Shift] + [トラックx]	選択したトラックをミュートまたはミュート解除する
サンプルローダー	ナビゲート	ホールド[左]	サンプル ローダー ブラウザーで [左] キーを押すと、左側の SD カード ブラウザーの先頭にジャンプします。
サンプルローダー	一括選択	[Shift] + 矢印	サンプルローダーでサンプルを一括選択する

著作権 © 2024 ポリエンド

無断転載を禁じます。本書またはその一部は、書評での短い引用を除き、出版社の明示的な書面による許可なく、いかなる形でも複製または使用することはできません。

2024年4月 - Tracker+ OS 1.0.0

書籍 Rev B

マニュアルは英国で制作されました

による

シンスドッグ

ホームページ



